

## 宇宙科学における観測機器開発・人材育成への貢献で「宇宙科学研究所賞」受賞



谷本取締役(左)とISAS 國中所长



かぐや搭載ハイビジョンカメラでとらえた「満地球の出」

### 【主な観測機器開発への貢献】

- ・ X線天文衛星「ぎんが」搭載の大面积比例計数管とガンマ線バースト検出器でX線検出器開発に貢献。
- ・ 太陽観測衛星「ようこう」搭載の硬X線望遠鏡／太陽光検出器で1次元CCDの開発に貢献。太陽光検出器は、相関2重サンプリングの先駆け方式でオフセット電圧をデジタルフィードバックで構築したことにより10年以上動作。
- ・ 磁気圏観測衛星「あけぼの」のワイヤーアンテナ制御とラングミュアプローブの開発に貢献。
- ・ 月周回衛星「かぐや」搭載ハイビジョンカメラ、超高層大気プラズマイメージャーの大型展開GIMBALの開発に貢献。  
民生ハイビジョンカメラをベースに宇宙搭載化技術を用いて民生NAND Flashメモリ、固体OSコンデンサなどを採用し世界で初めてハイビジョンクラスの地球映像を取得することに貢献。
- ・ 米国NASAが主導する磁気圏観測衛星(MMS)搭載のプラズマイオン観測機器16台の開発に貢献。
- ・ ヨーロッパESAが主導する木星氷衛星探査計画のガニメデ周回衛星に搭載するレーザ高度計、電波・プラズマ波動観測機器などの観測機器開発に貢献。

1月6日、当社の谷本取締役宇宙防衛事業部長が、JAXA宇宙科学研究所(ISAS)より「宇宙科学研究所賞」を授与され、受賞スピーチを行いました。

この賞は、ISASが毎年、宇宙科学・探査プロジェクトの実施にあたり顕著な功績又は貢献のあった外部機関所属の方々に授与するもので、今年で第9回目となります。

このたびの受賞理由は「観測機器技術が世界レベルに達していなかった日本の宇宙科学の初期において、技術をISASとともに発展させ、世界トップレベルの観測機器技術開発の推進に貢献したこと」や「技術開発過程において、技術開発の方向性を強く示し、人材育成においても貢献したこと」などです。表彰は、ISAS主催の第23回宇宙科学シンポジウムにおいて行われ、ISASの國中所长からご紹介いただきました。表彰式の様子は、YouTubeでも配信され、会場に出席できなかった宇宙関連の大学、研究所、民間企業の数多くの方々も聴講されていたようです。表彰式の内容は、今後ISAS ホームページや広報誌にも公開が予定されています。

当社は、これからも宇宙開発の発展に貢献できるようにワンチームで取り組んでまいります。

(担当:宇宙防衛事業部)

## 「伊勢崎市ビジネス体験事業2022」

### 自然と技術が調和する社会の実現に向けて

### ～「測る」「伝える」のプロ 明星電気の取組み～



気象防災事業部についての講演



衛星関連製品の説明

1月28日、伊勢崎市役所において、「伊勢崎市ビジネス体験事業2022」を開催しました。これは、伊勢崎市在住または在学の高校生を対象として、伊勢崎市教育委員会より委託・後援を受けて実施したものです。

当日は24名の高校生が参加し、当社従業員による講演と製品展示・製品説明を行いました。

参加者からは、「とても勉強になった。宇宙のことに大変興味を持った。自分の知らなかった分野について詳しく知ることができてとても楽しかった。伊勢崎市にこんなすごい会社があるなんて知らなかった。伊勢崎市の企業が日本の気象・防災や宇宙開発に大きく貢献していることを初めて知った」など多くの感想をいただきました。

また2月23日、当社で実施する職場体験には、約10名の高校生が参加される予定です。

(担当:気象防災事業部、宇宙防衛事業部、総務人事部)

【文中:敬称略】

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

明星電気の活動をご紹介します。